

漁村集落における微気象観測に関する研究

1. 漁村集落における微気象観測に関する研究

- ・きっかけは、熊本日日新聞の記事から
- ・都市を対象としたヒートアイランドに関する研究（大規模な調査）
←→スケールを変えて、少人数でも扱える範囲に
- ・聞き取り調査の手法は有明高専の加藤先生から
- ・細井先生との共同調査で見えてきたもの：風の動きをどう捉えるか？
- ・住民の方々：
はじめは「何もない」→ボランティアガイドのコースの一部として受け入れ
←5年間、毎年夏に通ったことも少しは影響したか

2. 関連する文献

以下の文献（教科書の該当ページ）を参照。

- [1] 辻原万規彦：集落の風，設計のための建築環境学 みつける・つくるバイオクライマティックデザイン（日本建築学会編），彰国社，pp.70～73，2011.5.

3. 参考 URL

- [1] 「密集した漁村集落における生活環境と熱・風環境」に関する研究成果の一覧
<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/nouson.html>
- [2] 有明工業高等専門学校 創造工学科 建築コース 加藤研究室
<http://www.ar.ariake-nct.ac.jp/kato/kato-lab.jpg>
- [3] 日本建築学会 環境工学本委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会
<http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s14/>